

由布市庄内地域定住促進事業公募型プロポーザル評価要領

1. 趣旨

本要領は、「由布市庄内地域定住促進事業公募型プロポーザル実施要領」（以下「実施要領」という。）に基づき、「由布市庄内地域定住促進事業公募型プロポーザル選定委員会」（以下「選定委員会」という。）が事業実施者を選定するための評価基準を示すものである。

2. 評価方法及び事業実施者の選定方法

(1) 評価方法

民間事業者により提出された提案書等に対し、本要領に基づいて、参加資格審査及び提案審査を行い、選定委員会の審査により事業実施者及び次点を選定する。

(2) 事業実施者選定までの手順

事業実施者選定のため、以下の手順により参加資格審査と提案審査の2段階で行う。

番号	実施項目	実施内容
①	参加資格審査	参加者の参加資格の有無を審査する。
②	提案書一式の受付	参加資格適合者から提出された提案書一式を確認する。
③	提案審査	①選定委員会は、提案書の内容を確認・精査するため、事業者選定会（プレゼンテーション及びヒアリング）を実施する。 ②選定委員会は、本要領に基づき、提案書の内容を評価し、評価点を算出する。
④	評価点の確定及び事業実施者の選定	①選定委員会は、③の合計結果から評価点を確定する。 ②選定委員会は、評価点が最も高い者と次点者を選定する。
⑤	事業実施者の決定	①由布市は、④の結果を受けて、事業実施者及び次点者を決定する。 ②選定の結果は、提案書の提出者に個別に通知するほか、結果の概要は、由布市公式ホームページで公表する。

3. 参加資格審査

(1) 審査方法

ア 選定委員会は、参加者から提出された参加申込書（様式第1号）及び参加資格の確認に必要な資料（様式第2号及び任意様式）を基に、参加者が参加資格を満たしているか否か審査する。

- イ 審査後は、参加資格適合者についてのみ、提案書の提出を可能とする。
- ウ 参加申込書の提出が5者を超えた場合は、選定委員会の審議により、5者程度選定する。

4. 提案審査

(1) 公開プレゼンテーション及びヒアリングの実施

- ア 対象者ごとに、選定委員会でプレゼンテーション及びヒアリングを実施する。
- イ プレゼンテーション及びヒアリングの順番は、事務局より個別に対象者に通知する。
- ウ プレゼンテーション及びヒアリングは公開により実施する。

(2) 評価手順

- ア 評価は、「別表 評価項目と配点」に示す評価項目について実施する。
- イ 選定委員は、全ての評価項目において、配点に以下のAからEまでの5段階で評価し、評価ランクに応じた配点比率を乗じたものを評価点とする。全ての項目の評価点を合計し、評価点を算出する。評価点は、小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位まで求めるのとする。

評価ランク		配点比率
A	特に優れている	当該項目の配点×100%
B	優れている	当該項目の配点×75%
C	標準的	当該項目の配点×50%
D	やや劣っている	当該項目の配点×25%
E	劣っている	当該項目の配点×0%

- ウ 事業実施者の選定は、各選定委員の評価点の平均が採用基準（合計点が70点以上）を超えた者の中から、評価点が最も高い者を事業実施者として、次点の者を次点者として選定する。なお、評価が最も高い者が2者以上の場合は、選定委員会の審議により決定する。

5. その他

この要領に定めるもののほか、プロポーザル審査に必要な事項は、委員長が選定委員会に諮って定める。

(別表) 評価項目と配点 (配点：100点)

評価項目	評価基準	配点
事業実施体制に関する評価	①各業務が適切に行われる体制となっているか。	10
	②同種・類似業務の実績があるか。また、その成果の水準はどうか。	5
事業工程計画に関する評価	①工程スケジュールに無理がないか。	10
事業実施内容に関する評価	<p>①要求水準書を十分に満たした提案となっているか。</p> <p>～以下要求水準書の要求要件～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途は住宅となっているか。 ・住宅整備に係る区画は12区画以上となっているか。 ・事業用地の取り扱いについて明記されているか。 ・施工主体者の明記はされているか。(住宅建築(住宅地内の電気、上下水道含)に係る施工を入居者としているか。) ・周辺環境や地域特性への配慮ができているか。 ・分譲計画は整っているか。(事業者が責任を持って行える内容か) ・定住促進に繋がるサービスの提供が図られているか。(情報発信や各種相談業務等) ・由布市からの委託料等費用が発生しない事業であるか。 ・その他有益な独自提案(例：公園の整備)が示されているか。 	50
リスク管理計画に関する評価	<p>①土地に関するリスク回避上の工夫がされているか。(例：測量、地質調査等を事前実施しており、予期せぬ事業計画等の変更が起こりにくい状況)</p> <p>②事業全体におけるリスク発生時のバックアップ体制がとれているか。</p>	15
その他	①提案内容を明確に説明できているか。また、選定委員の質問に対する的確に回答できているか。	10